



職労第114回中央委員会

開会に先立って6月の定期大以降に亡くなられた二人の組合員のご冥福を祈り、

14確定闘争方針を決定

県職労は10月18日、第114回中央委員会を開催し、生活できる賃金改善や「現給保障」の継続、自己負担解消に向けた通勤手当の改善など今秋期確定闘争の取り組み方針を賛成多数で決定した。

ではベアはもちろんだが、『給与制度の総合的見直し』について歯止めをかけなければならぬ。人事委員

まるくが予想される。人事当局にも単に国追随でないことを認識させ、賃金を維持・確保していかなければならない。」として、今後の取り組みへの結果を訴えた。



要求実現に向け交渉する県職労執行部

闘争も大詰め。各課題の矛盾と問題を見逃さず、現給保障廃止を許さない声・行動による改悪へのブレーキと、あるべき人員・職場体制をふり返るバックギアをしっかりと意識し、全組合員が結集していこう。

賃金・諸手当改善などで人事課総括課長交渉

地方共闘 知事あて要求書を提出

人事課総括課長 「現給保障」の今年度末廃止に信及



人事課総括課長交渉に臨む地公共闘交渉団

県議会12月定例会の日程を考えると、次回31日の人事課総括課長交渉が大きな山場となることと想定されていることから、県地公共闘会議は、31日に大衆行動を配置。県庁内座り込みを背景に総力を結集した取り組みを実施することとしている。

熊谷総括課長は、「人勧尊重のこれまでの基本姿勢に変わりはない」と回答した上で、現給保障についても「勧告を重く受け止めている」として今年度末での廃止の考えも示唆した。また、通勤手当改善については、「ガソリン価格が高い水準にあることは承知している」との見解に止まり、具体的改善については触れなかった。



熊谷人事課総括課長(右)に要求書を手渡す砂金議長

県職労は23日、独自課題に関する確定闘争期の要求書を提出し、熊谷人事課総括課長と交渉を行った。熊谷総括課長は、現給保障問題について地公共闘との交渉と同様に今年度末での廃止に言及したことから、大

幅な賃金カットと同じだとして再考を求めた。また、独自課題である最高号給到達者の処遇、人員の確保対策、被災地域において仮設住宅の整理計画に伴う職員

ものの、県南局の体制は放置されたまま。係制からフラット制への移行も、担当者以外に業務の進捗を把握できないとの問題が指摘されている。いよいよ確定闘争も大詰め。各課題の矛盾と問題を見逃さず、現給保障廃止を許さない声・行動による改悪へのブレーキと、あるべき人員・職場体制をふり返るバックギアをしっかりと意識し、全組合員が結集していこう。



月2回刊=1423号
2014年10月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

突然の災害に
しっかりと
備えよう
じちろうの自然災害共済は風水害で最高4,200万円、地震による損壊・火災で最高1,800万円まで保障。火災共済と一緒に加入して備えましょう。
じちろうの火災共済+自然災害共済
自治労共済本部
詳しくは所属する組合まで

大船渡市議補欠選挙 11月16日告示、23日投票

平田ミイ子さん

11月16日告示、23日投票で行われる大船渡市議会補欠選挙に、県職労は「平田ミイ子」さんを、組織内候補者として擁立して取り組むことを第114回中央委員会で決定しました。補欠選挙は、欠員1議席を二人で争う情勢となっています。選挙戦の勝利へ、組合員の皆様の、「知人・友人」への声かけをよろしくお願いいたします。



平田ミイ子

「戦後の日本は2つの欠陥を持ったスーパーカードだ。これは、あるラジオ番組で脚本家の倉本聰さんが語った言葉。欠陥の1つは「ブレイキ」。戦後、すさまじい速さで経済発展を遂げたが、その陰で貧困の格差拡大という現実が放置されたまま。もう1つの欠陥は「バックギア」。発展の過程で幾多の失敗も繰り返してきたが、一度法律や手法を新しく変えると、上手くいった従前の方法に回帰することを嫌う傾向が強い。原発問題などはその典型的な例だと指摘する。私たちが職場を見ても当てはまる場面が多い。県南局がいち早く広域化されたが、経理・出納関係業務の弊害が指摘され、他では旧局単位で完結できるよう修正されたものの、県南局の体制は放置されたまま。係制からフラット制への移行も、担当者以外に業務の進捗を把握できないとの問題が指摘されている。いよいよ確定闘争も大詰め。各課題の矛盾と問題を見逃さず、現給保障廃止を許さない声・行動による改悪へのブレーキと、あるべき人員・職場体制をふり返るバックギアをしっかりと意識し、全組合員が結集していこう。

お知らせ

県職労総合共済 2014年度福利増進事業

夏油高原スキー場 「ゴンドラ・リフト乗換券」

前売り引換券

組合員特別割引

1,900円/枚 (税込み) を ⇒ **1,800円/枚**

◆ 引換券1枚で「2,300円」分のリフト券として使用できます。例えば・・・

前売り引換券 2枚 (1,800円×2=3,600円)	⇒	大人1日券 (4,600円/枚)	1,000円 もお得!
前売り引換券 1枚 (1,800円)	⇒	小学生1日券 2枚 (1,000円×2=2,000円)	200円 もお得!

取り組み期間 10月20日～11月21日

申込み方法 最寄りの支部書記局へ(口頭可)

組合員 ⇒ 支部書記局 ⇒ 引換券発送 ⇒ 支部を通じて本人へ(代金引換)

購入した前売り引換券を、夏油高原スキー場のチケットカウンターで、当日のリフト券と引き換えてご利用ください。

「人員確保と現場力」確保の取り組みと公務員労働者分断につながる「給与制度の総合的見直し」阻止を!

現業・公企統一闘争、確定闘争勝利県本部10.25総決起集会を開催



直営堅持と地域公共サービス拡充めざし決起集会に参加した組合員

2014確定闘争、現業・公企統一闘争勝利自治労県本部総決起集会が25日、花巻市のJA花巻総合営農指導拠点センターを会場に約300人が参加して開催された。集会の冒頭、齋藤県

本部委員長は「このたたかいは、反合理化と直営堅持を目標とし、地域住民に対する公共サービスに必要な人員確保と現場力を確保する取り組みだ」とし、「その必要性について地域住民



花巻支部・青婦部学習会のようす

花巻支部の青年婦人部は、10月7日に遠野合庁内、9日には花巻合庁内の組合員学習会を開催した。

支部短信・花巻支部

学習会では、明日も明後日も健康で働き続けられなければ行政を維持できず、そのためにも生活に必要な賃金と身体を休める時間を意識すべきであることを学び合った。

野清隆さん(自治体政策研究会)が「確定闘争は春からのたたかいの集大成の取り組みだ。とりわけ、公務員労働者の分断につながる給与制度の総合的見直し阻止に向けて果敢なたたかいを進めていただきたい」とエールを送った。

県職労スポーツ祭典 ただ今「参加者」を募集中

県職労では、11月15日～16日の日程で開催する「県職労スポーツ祭典」の参加者を募集している。

早期復興に向けて連日奮闘している仕事の疲れを癒し、県内の仲間と一緒に汗を流し、語りあいながら自らの活力を養い、安心して働ける職場の実現をめざして“団結”を強めていきましょう。

- と き：11月15日(土) 午前11:00～16日(日) 午前10:30
- 内 容：・臨床心理士「藤井由里」さんの講演
・県職労バンドの演奏
・ドッチビー
・ミニゲーム・クイズ
- ところ：雫石町営体育館&清温荘



未加入者にも声かけをかけ みんなで参加しよう!

※詳しくは各支部書記までお問い合わせください。

知ってる? 取り柄がない? この休暇隔号列-ズ 育見休業 今回は...

幼少期の子どもには、親と一緒に生活が必要で、す。しかし、育児休業は、労基法には盛り込まれておらず、県の制度も昔からあつたわけではありません。

子育てしながら頑張つて働いてきた先輩方が、必要性を訴え、今の制度が実現しました。

現在では、職場復帰後すぐに昇給回復されるようになりました。これも子育てが昇給格差につながるのをおかしいと訴え、8年前の確定闘争期に、変えてきた成果です。

取得可能なケース	3歳に満たない子を養育する場合(父・母とも取得可)
取得日数	子が3歳に達するまで
補 足	○無給(地共済から補助あり⇒6か月間給与日額の100分の67支給、その後4か月間給与日額の100分の50支給) ○期間延長は1回のみ(特別な事情がある場合は再度期間延長可)

退職後の安心

大きく育てるなら、

早いうちから、じっくりと。



長期共済

詳しくは所属する組合にお問い合わせください

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合